

インフルエンザワクチンの接種をうけられる方へ（要予約）

☆ インフルエンザワクチンの効果と副反応

インフルエンザワクチン是不活化ワクチンです。（生ワクチンではありません。）

通常1～4週間の期間をあけて2回接種しますが、13歳以上で毎年接種されている方は1回の接種で有効ともいわれています。ワクチンの効果については以前から論議されてきましたが、ワクチンを接種を受けていれば、インフルエンザに感染しても症状が軽くすみ、重症化し入院することを予防する効果は報告にもよりますが30%～70%程度といわれております。ワクチン接種に伴う副反応として、発熱や、注射部位が赤くはれたり、硬くなったりします。発現頻度として発熱は100人に数人位、赤くはれたりするのは10人に1人くらいです。

☆ 次の方は接種をうけないでください

- 1) 明らかに発熱している方（37.5℃以上の方は接種しません）
- 2) 重い急性疾患にかかっている方
- 3) 本剤の成分により、ショックを起こしたこと、ひどい発疹がでたり、具合が悪くなったことがある方
- 4) その他、いつも診てもらっている医師に受けない方がいいといわれた方

☆ 次の方は接種を受けるに際し、医師に相談下さい

- 1) 心臓血管疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患のある方
- 2) 今までけいれんをおこしたことがある方
- 3) アレルギー体質の方
- 4) 鶏卵、鶏肉に対してアレルギーのある方
- 5) 過去のワクチン接種後に発熱や赤くはれたりする副反応の強かった方
- 6) 妊娠している方、授乳中の方
- 7) カゼなどひきはじめと思われる方
- 8) はしか、風疹、おたふくかぜ、みずぼうそう等の伝染性疾患の方に接触して間がなく本人がまだ、その病気にかかったことがないか、ワクチンを接種していない方

☆ ワクチン接種を受ける時の注意

- 1) インフルエンザワクチンのパンフレットなどをよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは事前に医師に相談して下さい。
- 2) 受ける前日には入浴（又はシャワー）をして、体を清潔にしましょう。
- 3) 予診票は接種する医師への大切な情報です。責任をもって正確に記入してください。
- 4) 当日は体調をよく観察して、普段と変わったところがないか確認してください。もし、かわったことがあった場合には医師にご相談ください。

☆ ワクチン接種を受けた後の注意

- 1) 接種を受けた後30分は病院にいるなどして様子を観察し、何かあればすぐに医師と連絡をとれるようにしてください。
- 2) 接種後24時間は副反応の出現に注意しましょう。万一、高熱やけいれん等の異常が出た場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 3) 入浴は差し支えありませんが、注射部位はこすらないでください。注射部位が赤くはれた場合2～3日で消失することがほとんどで、局所を少し冷やして様子を見てください。

当院でインフルエンザワクチンを接種される皆様へのお願い

☆ 自宅を出られる前には必ずお熱を測ってください

37.5℃以上のときは接種できませんので、診療時間内に診察を受けるか、発熱した旨をご連絡ください。

延期後の日程を再調節いたします。（熱が無くても、咳、鼻水がひどければ同様）

☆ はしか、風疹、水痘（みずぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）など、伝染性の疾患にかかられた方は、原則として4週間（突発性発疹は2週間）期間をあけて接種します。

☆ 授乳中、妊娠中の方は必要性が認められれば、相談の上接種いたします。

6ヵ月未満の乳児については原則として接種していません。（詳細はお尋ねください）

☆ 常に薬を飲まれている方については病態が落ち着いていれば、接種します。

（但し、主治医の先生からは口頭でも結構ですので必ず承諾を得ておいてください）